

お客様各位へ

## 新型コロナウイルスの第2波について

新型コロナウイルスの第2波が発生し、全国的に感染者が増えてきました。特に沖縄は、全国一感染率が高く、そして米軍基地でのクラスター感染も拡大し、緊急事態になっております。

添付した東京工業大特任教授の奈良林先生の資料にも書かれているように、(添付資料1) 現在、全国的に広がっている原因は、安全で安心して使用できる次亜塩素酸水(電気分解)を経済産業省、厚生労働省、消費者庁、三省の曖昧なファクトシートとNHKの事実を十分に理解しないままでの誤報が、現状の感染拡大を生み出しているのではと個人的に考えます。

ネット検索でNBACC(米国国土安全保障省、生物防御研究所)の報告で新型コロナウイルスは、インフルエンザウイルスと同じエンベロープウイルスで(RNA)、**高温多湿+紫外線**に非常に弱く、気温21~24℃、湿度80%+紫外線の環境化では2分で死滅するとあります。

夏場の沖縄を勘案すると室外は、高温多湿+紫外線が強く、新型コロナウイルスが生息するには厳しく感染リスクも低いものと考えます。

現在のクラスター感染が多発箇所と言われている所が、キャバクラ・コンサート会場・病院・家庭等が多く、エアコンが効いた低温低湿の環境下で集団感染が広がっている。

感染対策の基本は3蜜(密閉、密集、密接)を防ぐことですが、NBACC報告の**高温多湿+紫外線**での対策も視野に入れる必要があります。ただ室内で高温多湿+紫外線の環境条件は造りにくく、仮に造ったとしても、逆に熱中症の問題が発生します。

しかし、NBACCの報告では、気温21~24℃・湿度80%+紫外線の環境下で新型コロナウイルスが2分で不活性化したとあります。であれば、エアコンの効いた室内温度は、25℃前後で通常設定されているとおもいます。その室内を超音波ミスト器に次亜水を入れ使用することによって湿度は上げることができます。(水のミストでも湿度は上がるが、長時間の水使用はレジオネラ菌発生の懸念があり、

在郷軍人病肺炎の可能性)

また、紫外線については、出来るだけカーテンを開け太陽光が入るようにすれば多少改善できます。

ミストは単に室内の湿度を上げるだけでなく、空気中に漂う細かい浮遊粉塵（粉塵にウイルスや細菌が付着し長時間漂う）にミストの粒子が付着し、床に落下するため、短時間で空気中のウイルス浮遊を低下させます。

※次亜塩素酸水のミスト噴霧の安全性についての資料添付（添付資料2）

現在の状況は、ナイトの最終報告でミスト噴霧を推奨しないと記述したため、店舗からミスト器が消えてしまいました。

今後のクラスター（集団感染）を防ぐためにも、今一度、ミスト器の使用を検討したほうが良いと思います。

共栄ビル整備株式会社 代表取締役社長 山城 弘

<添付資料（参考資料）>

1. 月刊H a n a d aの中から「第二波を招くNHKの大誤報」  
東京工業大特任教授 奈良林直
2. 大量空間噴霧の実際と可能性 海外採用例 東京工業大特任教授 奈良林直